

深北緑地公園



主 催 : 公益財団法人どうぶつ基金

申請者 : 深北緑地パートナーズ

日 程 : 平成26年9月29~30日(手術日)

地域の現状と特徴

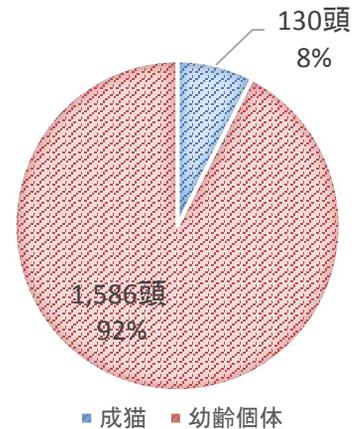
【大阪府の現状】

区分 自治体名	猫									
	引取り数				処分数					
	飼い主から		所有者不明		返還数	返還数 のうち 幼齢個体	譲渡数	譲渡数 のうち 幼齢個体	殺処分数	殺処分数 のうち 幼齢個体
	成熟個体	幼齢個体	成熟個体	幼齢個体						
大阪府 (大阪市、堺市、東大阪市を除く)	128	177	14	1,471	0	0	72	57	1,716	1,586

大阪府(大阪市、堺市、東大阪市は除く)では平成25年度1年間で1,718匹の猫を殺処分している。

その内、仔猫は1,586匹であり、殺処分される猫の92%が仔猫という現状がある。

殺処分数の割合(大阪府)



【深北緑地公園の申請時の状況】

大阪府営深北緑地公園は、平常時はレクリエーションやスポーツが楽しめる緑地公園。大雨の非常時には、増水した水を一時的にためて洪水を未然に防ぐ遊水地。深北緑地公園にはこれらの2つの機能を備え、皆様の安全もお守りしています。(深北直地HPより)

公園猫が出産した猫と外部からの捨て猫が後をたたず、今年(26年度)は約100頭の猫がいる。(申請書より一部抜粋)

プロジェクト経緯と実施内容

【申請書から】「法律で公園において動物を飼育することは禁止されている上、公園利用者の安全衛生面からしても好ましいことではありません。また、猫の餌やりさんとその行為を好ましく思っていない公園利用者とのトラブルも発生し、餌やりさんのマナーの低さも問題となっている。しかしながら一番の被害者は猫であり、ペットとして人に飼われ、お家で安全に暮らすことがペットの使命で幸せであるにもかかわらず、無責任な飼い主によってその使命を奪われた猫たちをどうするか。これ以上増やさず、一代限りの命を見守る所存です(申請書より抜粋)。」

大阪府営 深北緑地パートナーズからの申請を受け「さくらねこ一斉TNR無料不妊手術」を深北緑地公園にて実施することとなった。

協働体制

【公益財団法人どうぶつ基金】

佐上邦久理事長・佐上悦子

【獣医師】

山口獣医 千葉獣医 小松獣医 池田獣医(ボランティア参加)

【協力団体】

深北緑地パートナーズ 市民ボランティア

【実施内容】

- | | |
|---------|-------------|
| 1) 出張手術 | 9月29～30日 |
| 捕獲実施期間 | 9月26～30日 |
| 放猫 | 9月30日～10月1日 |

手術会場及びネコ保管場

手術会場:大阪府営 深北緑地公園内

猫の保管:大阪府営 深北緑地公園内



猫の保管



手術会場

スケジュール

実施日 平成26年9月26日～10月1日（延べ6日間）

日数(日)	1	2	3	4	5	6	計 (頭)
Trap 捕獲	2	81	35	8	7		133
Neuter 不妊去勢手術				100	23		123
Return 元の場所に戻す					89	30	119

●捕獲

10頭は不妊去勢手術済の個体
妊娠中のメス1頭、子猫3頭は、里親が見つかった。

●不妊去勢手術

オス63頭、メス60頭
すでに手術済で耳カットのみ4頭

●医療事故

0件

使用捕獲器数

所持者	捕獲器
ボランティア	20
どうぶつ基金	130
合計	150

協働人員数

事業の参加人数

延べ142人

日数(日)	1	2	3	4	5	6	計(延べ人数)
餌やりボランティア 深北緑地で餌をやっている人 捕獲、保管中のお世話	4	15	20	18	16	10	83
外部ボランティア (TNR経験者) 外部ネットワーク 捕獲、手術のお世話		2	4	8	5		19
どうぶつ基金事務局 事業実施の全般管理				2	2		4
獣医師 手術、健康管理				4	3		7
公園管理者 場所提供と準備、片付け 捕獲器の運搬	4	4	5	6	6	4	29

●餌やりボランティア

捕獲やお世話のため、6時から20時の間に随時3~10人程度
健康状態のチェックや前日夜からの絶食、術後の覚醒など

●公園管理者

公園猫に直接触らないが、医療事故防止のため手術の進捗管理を行った

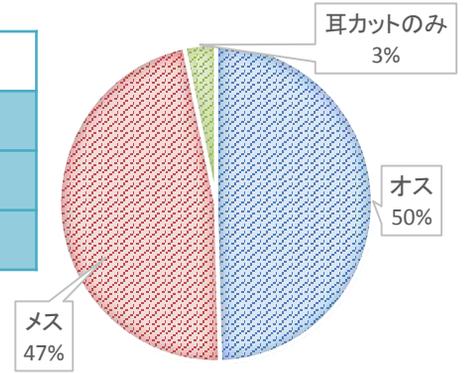
手術集計

手術割合

■ オス ■ メス ■ 耳カットのみ

TNR数

	オス	メス	耳カットのみ	計
9月29日	48	49	3	100
9月30日	13	9	1	23
計	61	58	4	123



【処置内容】

- 1) 不妊去勢手術 2) 耳カット 3) ワクチン 4) ノミダニ駆除(レボリューション)
その他: 怪我治療

執刀医



どうぶつ基金顧問
山口武雄獣医師



千葉獣医師



小松獣医師



池田獣医師
(ボランティア参加)

手術会場の様子



手術開始前に
山口獣医師長から
手術の説明及び手
順を説明します。



麻酔が効いている間に
からだをきれいにし
目薬を点し、耳掃除を
します。

手術会場の様子



手術終了までに猫が入っていた捕獲機をきれいに洗浄します。



手術後一晩安静にし、翌日、元気に公園の元いた場所に戻します。

申請者の報告書から抜粋

成果と課題

目標を達成した

- 予定数クリア、123頭の実績
予測は約100頭、聞き取りで約128頭

- ・ いかに事業を継続していくか？
・ 捕獲漏れが約50頭 → 年内に事業実施
・ 外からの捨て猫の阻止

組織的に取り組めた

- 公園猫の適正管理の理解
- お互いの立場の理解
役割分担、責任あるかかわり

- ・ いかに責任あるかかわり方を普及していくか？
あらゆる餌やりボランティアにかかわってもらう
実践から学びとってもらう

要望型から協働型へ

- 餌やりボランティアの芽生え
お世話やカンパなど自主的な協力

- ・ いかに餌やりボランティアを育てていくか？
・ まとまらず、ばらけず、協力体制を築いていく
・ リーダー不在をどう埋めていくか

感想

予想以上に
大がかり

- 設営
- 餌やりボランティアの支援
- 完全なる医療行為

私達も育ててもらった

- 経験豊富なTNR活動家のおかげ
- 餌やりボランティアとの関係構築の芽生え

最初の
一歩を踏み出した



深北緑地公園

主 催 : 公益財団法人どうぶつ基金

申請者 : 深北緑地パートナーズ

日 程 : 平成26年9月29～30日(手術日)